

基本項目

項目	現状値	目標値 (平成29年度)	指標・目標値の考え方
健康寿命の延伸 (日常生活動作が自立している期間の平均の延伸) 注:厚生労働省算定プログラムに準拠し、平成21~23年度の市町介護保険情報を用いて算定	男性 78.47 年 女性 83.19 年	1 年延伸	最も健康寿命が長い長野県(男性 79.46 年,女性 84.04 年)を目標とし、1 年延伸とする。
健康ひょうご 21 県民運動参画団体による活動件数の増加	13,495 件 (県:平成 23 年度)	14,800 件	現状値の 10%増加を目指す
食の健康協力店の増加	店舗数: 6,692 店舗 (平成 23 年度健康増進課調)	8,000 店舗	「食育推進計画」年間約 250 店舗の増加を目指す
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)	62.1% (平成 23 年度衛生行政報告)	65%	現状値の 5%増加を目指す 「健康日本 2 1 (第 2 次)」の伸び率(10 年間で約 10%)を参考
かかりつけ医をもつ者の割合の増加	65.1% (平成 24 年度「美しい兵庫紙票」県民アンケート)	70% (平成 30 年度)	「保健医療計画」を参考(現在改定作業中) 「美しい兵庫指標」平成 30 年度目標
かかりつけ歯科医をもつ者の割合の増加	70.0% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	84.0%	現状値の 20%増加を目指す
健康・介護まちかど相談薬局の設置数の増加	615 軒 (平成 23 年度薬剤師会調)	800 軒	現状値の 30%増加を目指す
まちの保健室の設置数の増加	585 箇所 (平成 23 年度健康増進課調)	635 箇所	年間 10 箇所増加(5 年で 50 箇所増加)を目指す
栄養ケアステーションの設置数の増加	1 (平成 23 年度健康増進課調)	(検討中)	
受動喫煙の防止等に関する条例に基づく受動喫煙対策の推進	[敷地内禁煙] 教育機関(幼稚園・小学校・中学校・高校):79.9% [建物内禁煙] 官公庁:78.0% 医療機関:79.4% 教育機関(大学・専門学校):87.4% [建物内禁煙又は完全分煙] 交通機関:34.7% 運動施設:84.8%	[敷地内禁煙] 教育機関(幼稚園・小学校・中学校・高校): 100% [建物内禁煙] 官公庁:100% 医療機関:100% 教育機関(大学・専修学校):100% [建物内禁煙又は完全分煙] 交通機関:100%	「受動喫煙の防止等に関する条例」の規制内容に沿った措置をすべての施設が講ずるよう普及啓発に努める。

	文化施設:83.6% 飲食店:19.6% 宿泊施設:17.1% <small>(県:平成20年度受動喫煙防止対策実施状況調査)</small> 平成24年度健康増進課調 条例施行前の喫煙室を含む	運動施設:100% 文化施設:100% 飲食店(客室100㎡超):100% 宿泊施設(フロントロビー100㎡超):100% <small>条例施行前の喫煙室を含む</small>	
--	--	---	--

分野別計画

2 歯及び口腔^{くわう}の健康づくり

区分 ライフステージ	項目	現状値	目標値 (平成29年度)	指標・目標値の考え方
妊産婦期	妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	32市町(要精査) (78.0%) <small>(平成23年度健康増進課調)</small>	41市町 (100%)	全市町実施を目指す
乳幼児期	3歳児のむし歯のない者の割合の増加	82.8% <small>(平成23年度3歳児歯科健診結果調査)</small>	87%以上	平成18年度から年間0.8%増と伸びが鈍化している。直近の伸びから4%増を見込む
	3歳児のむし歯のない者の割合が80%以上である市町の増加	29市町 (70.7%) <small>(平成23年度3歳児歯科健診結果調査)</small>	33市町以上 (80.4%)	「3歳児のむし歯のない者の割合の増加」の目標値を現状値の4.2%増としたことから、各市町も23年度現状値の4.2%増と仮定すると、80%以上の市町が33市町となる。
学齢期	12歳児での一人平均むし歯数の減少	1.18歯 <small>(平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査)</small>	1歯未満	現行の健康増進計画の目標未達成(1歯以下) 引き続き1歯未満として目標達成を目指す
	12歳児での一人平均むし歯数が1.0未満である市町の増加	9市町 (22.0%) <small>(平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査)</small>	16市町以上 (39%)	「12歳児での一人平均むし歯数の減少」を現状値の0.18歯減少の1歯と設定したことから、各市町も現状値から0.18歯の減少を見込むと、1歯未満の市町が16市町となる
成人期	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	46.9% <small>(平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)</small>	56%以上	現状値の20%増加を目指す
	8020運動目標達成者割合の増加 40歳28歯以上 50歳25歯以上 60歳24歯以上	40歳 64.1% 50歳 76.9% 60歳 61.1% <small>(平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)</small>	40歳 77%以上 50歳 92%以上 60歳 73%以上	現状値の20%増加を目指す

	歯間清掃用具を使用する人の割合の増加 (20歳以上)	45.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	54%以上	現状値の20%増加を目指す
	定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	24.6% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	30%以上	現状値の20%増加を目指す
高齢期	8020運動目標達成者割合の増加 70歳 22歯以上 80歳 20歯以上	70歳 53.5% 80歳 35.2% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	70歳 64%以上 80歳 42%以上	現状値の20%増加を目指す
	介護予防事業において口腔機能向上プログラムを実施している市町数の増加	36市町 (87.8%) (平成23年度市町歯科保健対策実施条項調査)	41市町 (100%)	全市町実施を目指す
特に配慮を要する方 ・障害者(児) ・要介護高齢者 ・難病患者	障害(児)者入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	65.8% (平成24年度健康増進課調べ)	80%以上	現状値の20%増加を目指す
	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	28.9% (平成24年度健康増進課調べ)	35%以上	現状値の20%増加を目指す